

# 政府・自民党の

# 軍事大国化路線と対決する反合同争を



81.5.22  
No. 746  
国鉄千葉動力車労働組合  
千葉市要町二一八(動力車会館)  
(鉄電)二九三五〇六(公衆)四三三(22)七二〇七

## 35万人体制粉碎へその2

本紙七四〇号で明らかにしたように、81春闘のストなし惨敗が国鉄35万人体制合理化攻撃を、より一層熾烈なものにしています。  
今回は、この大合理化攻撃が政府・自民党の軍事大国化路線の一環としてかけられてきていることの本質を明らかにし、政治闘争として闘うべき方向性、労働組合の取り組みのあり方について、明らかにしたいと思います。

### 「赤字」も「公共の福祉」もない人減し

35万人体制攻撃が、①全国新幹線網を中心とする都市間輸送、②大都市圏の通勤、通学輸送、③大資本と軍事輸送のための武操型貨物、のみをビルド部門とし、地方ローカル線を中心とするスクラップ部分の切り捨てだけに止まらず、ビルド部分においても、大巾な要員削減・労働強化・全面的民託化等々を同時併行的に推し進めるものであることについては、この間、度々明らかにしてきました。

そして、この合理化攻撃が、「公共の福祉」も「赤字」の解消も全く念頭にないところから発想されたものであることもまた鮮明です。35万人体制が完成したとしても「赤字」が解消されるはずもないし、ローカル線を切捨てて「公共の福祉」を言ってもはじまりません。  
35万人攻撃は、現に進行している官公労働者削減攻撃の一環であり、民間の製造部門で工業用ロボットを投入した「無人工場」が出現していることと同一の発想からする明確な労働者削減攻撃なのです。

### 明確な「無人工場」化攻撃

55年体制下において、日本帝国主義は、高度経済成長を支える労働者確保のために、地方の政治・経済・文化を破壊し、農業を破壊し、首都圏をはじめとする大都市圏に人口を集中させる施策を強行してきました。

今日、世界的な資本主義支配体制の危機の中で延命を図る政府・自民党は、国内における大弾圧体制をもってする暗黒の政治支配と、外に向ける侵略政策を基調とする軍事大国化路線を選択し、労働者を軍隊に投入するために、コンピュータを導入した「無人工場」化の合理化を、全産業分野にわたって強行しようとしているのです。

35万人体制とは、国鉄の「無人工場」化なのです。

### 労働者を「兵隊」にする攻撃

現在、自衛隊の人的構成は、士官1に対して、下士官2、兵1の割合になっており、これは、「兵隊」が決定的に不足していることを示しています。そして、防衛予算の70%以上が人件費という実態があります。

このことは、第一に、労働者・人民のためには全く役立たない兵器生産によって防衛費という名の税金を大企業へバラまくために、人件費のかからない兵隊に徴兵制によって狩り出された労働者・人民を大量に必要としていることと、第二に、自衛隊の中には、労働者・人民を兵隊として狩り出すための体制がすでにでき上がっていることを示しています。

以上のように、現在強行されつつある全産業分野における人減らし合理化と、自衛隊に軍隊の実情を重ね合わせる時、国鉄35万人体制攻撃の本質は、何よりも鮮明に見えてきます。

### 銃をもって戦場に立つのか！

全ての分野で、大量にコンピュータを投入し、労働現場や経済体制を支配するのみならず、「国民総背番号」的に、思想・信条に至るまでのプライバシーをも支配して、労働者・人民を「国民皆兵」的に支配しようとする政府・自民党と対決する闘いとして、自らが「兵隊」となって銃をとるのかどうかの選択を迫られた闘いとして、自らと、自らの息子を戦場にかりたてる反動政治との対決なしに、真に国鉄35万人体制を粉碎する闘いがあり得ないことははっきりとしているのです。

出直し強行南港三周年・二期着工粉碎・  
空港廃港！  
主催 三里塚芝山連合空港反対会  
5.24 全国総決起集会  
結集10時 成田運転区  
正午・岩山小跡地